

1 章

良好な景観の形成 に関する方針

(景観法第8条第3項関係)

1

良好な景観の形成に関する方針の体系

2

景観形成の基本方針

3

本市の特性を活かした景観形成

- 斜面林
- 水辺
- 眺望
- 歴史・文化
- 農

4

市街地特性に応じた景観形成

- 一般市街地
- 商業系市街地
- 工業系市街地

5

色彩効果を活かした景観形成

1

良好な景観の形成に関する方針の体系

「良好な景観の形成に関する方針」は、「松戸市景観基本計画」の基本理念や基本方針などを継承し、場所に即した具体的な景観形成の方針や、個々の建築物等に求められる景観への配慮をとりまとめたもので、本市における景観形成の基本的な考え方を体系的に示したものです。

市民や事業者の皆さんをはじめ、市の景観形成に関わるすべての人、行為がそれぞれの立場で配慮すべき事項であり、大規模建築物等を対象とした事前協議に際してはその指針となるものです。

松戸市景観基本計画における基本理念と基本方針

基本理念

景観づくりを通じて新たな生活文化を創造し、
人のやさしさと心の安らぎを感じる地域社会を実現する

基本方針

1. みどり豊かな景観を守り、育てよう
2. 歴史に培われた文化を大切に、品格のある景観づくりを考えよう
3. 芸術・創造性の豊かな景観づくりを考えよう
4. 地域への愛着とおもいやりのある景観づくりのルールをつくろう
5. 市民一人ひとりが暮らしと営みの中で担い手となり、協働して景観をつくっていこう
6. 景観を市民の共有財産として次世代に継承しよう

基本理念と基本方針の継承

良好な景観の形成に関する方針

景観形成の基本方針

水辺の
景観ゾーン

斜面林と台地の
景観ゾーン

台地の
景観ゾーン

みどりと農の
景観ゾーン

中心市街地
景観ゾーン

景観ベルト・景観拠点・眺望景観ポイント

本市の特性を活かした景観形成

斜面林 ・ 水辺 ・ 眺望 ・ 歴史、文化 ・ 農

市街地特性に応じた景観形成

一般市街地 ・ 商業系市街地 ・ 工業系市街地

色彩効果を活かした景観形成

2

本市は、台地と低地、谷津で形成された地形に、河川や斜面林、幹線道路がベルト状に貫き、代表的な景観資源が所々に分布しています。そこで、本市の特徴である地形を基本に分類すると5つの景観ゾーンに分けることができます。

斜面林のみどりや河川の水辺など骨格的な特徴を活かすとともに、地域の歴史・文化の景観要素や眺望景観などに配慮しながら、景観特性である5つの景観ゾーンごとに景観形成の方針を定めます。

凡 例

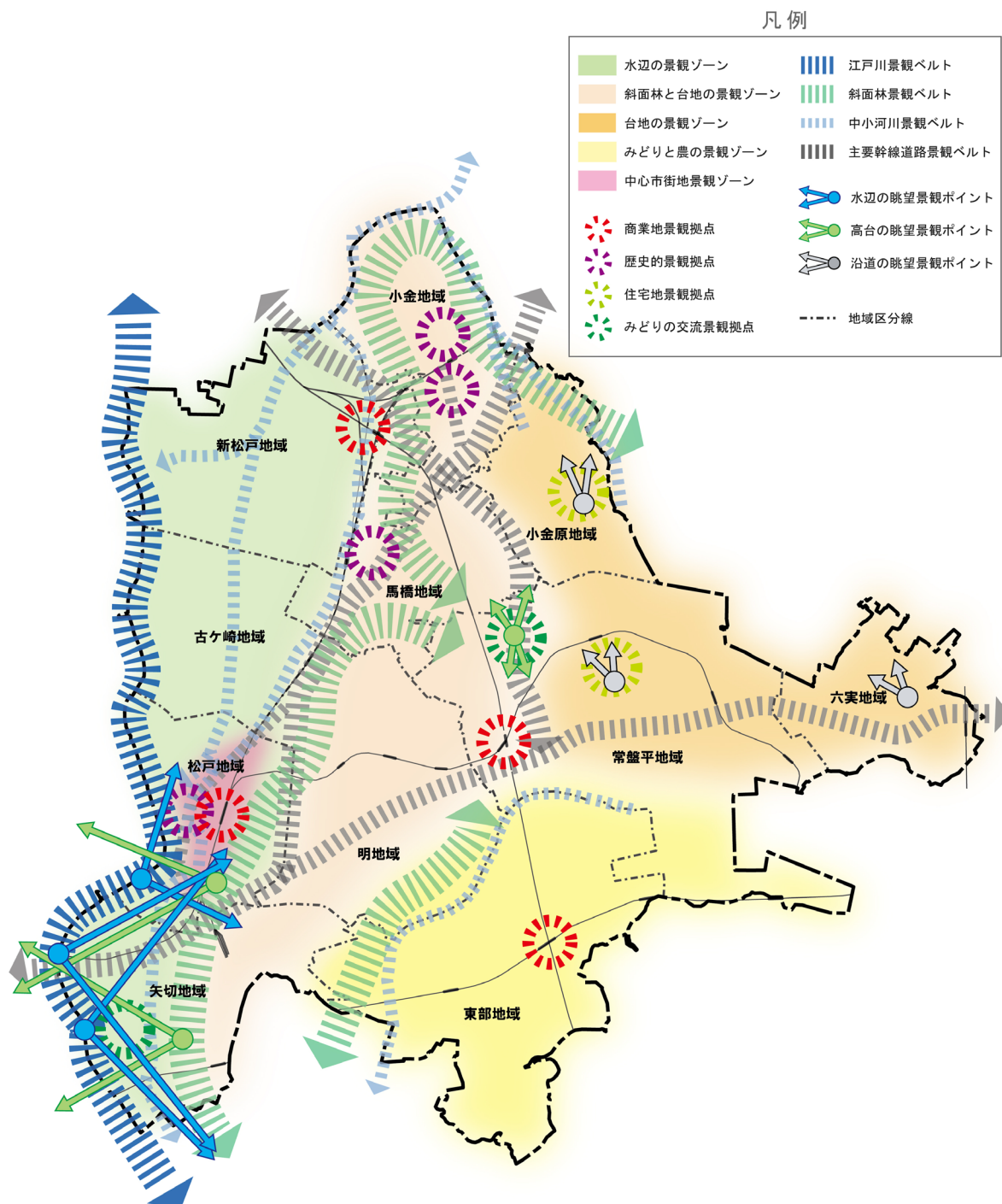


図 景観づくり方針図

水辺の景観ゾーン

<景観形成の基本方針>

身近にうるおいを感じ、心のよりどころを感じることでできる豊かな水辺の景観づくり

- 水辺と低地、背後の斜面林の一体的な地形を阻害しない景観づくりのルールをつくろう。
- 水辺で行っている清掃や植樹・花植え・イベントなどの川を活かした様々な市民活動を通じて身近な景観をつくっていこう。
- 水辺を活かした、人と動植物が共存する空間として、環境を再生し、次世代に継承しよう。
- まとまった農地の開放感と水辺のうるおいある景観を守り、育てよう。
- 江戸川河川敷や農業空間を大切にし、人々の心に開放感を与える豊かな景観づくりを考えよう。

景観特性		
①自然（水辺やみどり）の景観特性 ・江戸川沿いの平坦な低地で、東側の台地との境には斜面林が連なる。 ・坂川、新坂川、六間川など多くの河川がある。 ・矢切、旭町などにまとまった農地をみることができる。 ②歴史・文化的な景観特性 ・「治水」「農耕」「神事」など幅広い分野の歴史・文化的資源が随所に残されている。		
景観ベルト	景観拠点	眺望景観ポイント
江戸川景観ベルト ・雄大に流れるその姿は市を代表する景観で、心に深く刻み込まれる重要な資源として多くの市民に親しまれている。 中小河川景観ベルト ・多くの河川・水路が集り多彩な水辺景観を形成している。	商業地景観拠点（新松戸駅周辺） ・東京都心へ向かう交通結節点でその利便性も高く、市を代表する拠点商業地である。 みどりの交流景観拠点（矢切農地一帯） ・矢切ねぎで有名な広大な農地が広がる。 ・みどり豊かで広大な水辺・江戸川を往来する「矢切の渡し」がある。	水辺からの眺望景観ポイント（江戸川からの眺望） ・堤防から、中心市街地や、みどりのスカイラインを形成する斜面林などを望むことができる。



花火大会（江戸川）



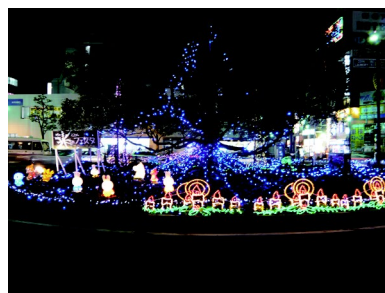
新坂川桜並木



春雨橋親水広場



矢切の渡し（江戸川）



光のフェスタ（新松戸）



旭町の農地

斜面林と台地の景観ゾーン

<景観形成の基本方針>

斜面林の連続性、高台からの眺望景観に配慮した親しみの持てる景観づくり

- 台地部からの眺望を阻害しないような景観づくりのルールをつくろう。
- みどりの保全や歴史研究などを市民と協働して松戸らしい景観をつくっていこう。
- 斜面林の立体的なみどりを市民の共有財産として次世代に継承しよう。
- 21世紀の森と広場を核に、松戸らしさを表す斜面林や住宅地の豊かなみどりを守り、育てよう。
- 旧小金宿の歴史遺産を大切に、周囲に調和する景観づくりを考えよう。
- 21世紀の森と広場を中心とした、芸術・創造性の豊かな景観づくりを考えよう。

景観特性 ①自然（水辺やみどり）の景観特性 ・台地と谷津により形成される起伏ある地形が、まち並みに変化を与えている。 ・台地を縁取る斜面林が、まちの表情を豊かにしている。 ②歴史・文化的な景観特性 ・城跡や貝塚が点在する。 ・旧水戸街道小金宿などには歴史的景観資源が残る。		
景観ベルト	景観拠点	眺望景観ポイント
斜面林景観ベルト ・低地と台地を縁取るように連続するみどりが、まち並みにうおいと変化を与えている。 主要幹線道路景観ベルト ・国道6号線、県道松戸鎌ヶ谷線、松戸都市計画道路3・3・7号横須賀紙敷線等の幹線道路が貫き、人々の交流に重要な役割を担っている。	歴史的景観拠点（旧小金宿周辺） ・旧水戸街道の宿場町で、当時の名残を随所に見ることができる。 ・東漸寺や本土寺等の名刹では、四季折々の花木が多彩で独特の風情を醸し出している。 歴史的景観拠点（馬橋駅周辺） ・運慶作といわれる「金剛力士像」が安置された仁王門のある萬満寺は、重要な景観資源となっている。 みどりの交流景観拠点（21世紀の森と広場） ・斜面林、谷津、湿地、湧水といった自然を活かし、多くの市民に親しまれている。 商業地景観拠点（八柱駅周辺） ・市の中央部の交通結節点として、各種店舗が集中しにぎわいがある。	高台からの眺望景観ポイント（野菊苑から） ・富士山や足柄山、矢切耕地を望むことができる。 （戸定邸から） ・雄大な江戸川を望むことができる。 （21世紀の森と広場から） ・広場の橋から、斜面林や公園の豊かなみどりを眺めることができる。



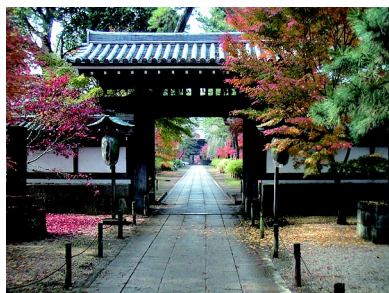
矢切・栗山の斜面林



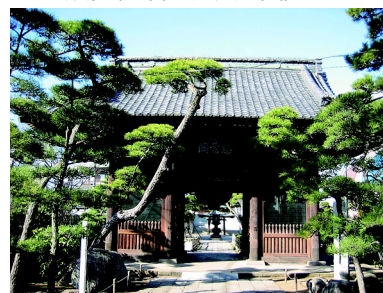
小金城跡（大谷口歴史公園）



本土寺の紫陽花



東漸寺



萬満寺の仁王門



21世紀の森と広場

台地の景観ゾーン

<景観形成の基本方針>

地形を活かした住宅地や商業地、沿道の豊かなみどりが調和する景観づくり

- みどり豊かな住宅地が実現する景観づくりのルールをつくろう。
- みどりに係る地域活動などを行う市民団体と協働してみどり豊かな景観をつくっていかう。
- 成熟したみどりを市民の共有財産として次世代に継承しよう。
- みどり豊かな街路樹の眺望景観を守り、育てよう。
- 高度成長期の新しい暮らし方を伝えた団地などのたたずまいを大切に、創造性のある豊かな景観づくりを考えよう。

景観特性	①自然（水辺やみどり）の景観特性 ・なだらかな起伏により変化のあるみどり豊かな台地。 ・昭和 30 年代以降大規模な造成が行われた常盤平団地や小金原団地がある。 ②歴史・文化的な景観特性 ・野馬除土手など歴史を伝える資源が残っている。	
景観ベルト	景観拠点	眺望景観ポイント
主要幹線道路景観ベルト ・鉄道駅に近接する県道松戸鎌ヶ谷線の沿道は、多くの商業施設でにぎわいがある。	住宅地景観拠点（常盤平団地一帯） ・昭和 30 年代、当時先端の団地計画に基づき造成され、みどり豊かに成熟した住宅地が形成されている。さくら通り（日本の道 100 選選定）とけやき通り（新・日本街路樹百景選定）が交差し、市を代表する景観となっている。 住宅地景観拠点（小金原団地一帯） ・さくら、あめりかふう、にせあかしあ、いちようなど多数の通りが、落ち着いた魅力ある住宅地景観を形成している。	沿道の眺望景観ポイント（常盤平・小金原） ・大きく生長した多種の街路樹が、変化のある地形と相まって表情豊かな並木道を形成している。（六実） ・さくら通りは、道路幅員が広く、艶やかな桜を眺望することができる。



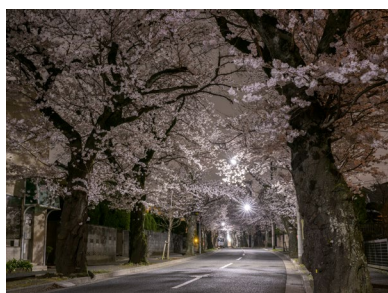
あめりかふう通り（小金原）



さくら通り（小金原）



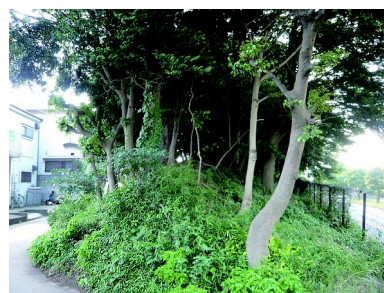
さくら通り（六実）



さくら通り（常盤平）の夜景



けやき通り（常盤平）



野馬除土手（六実）

みどりと農の景観ゾーン

<景観形成の基本方針>

農地や河川などを通じてうるおいを感じることでできる景観づくり

- 農地などの自然環境の保全を図り、大地の恵みが感じられる景観づくりのルールをつくろう。
- 市民との協働で農の風景をつくっていかう。
- 国分川の親水性ある景観を活かし、生物の良好な生息環境を次世代に継承しよう。
- 水辺とみどりが調和した景観を守り、育てよう。
- 古墳や貝塚などの歴史資源を大切に、豊かな景観づくりを考えよう。
- 里の景観資源を活かした創造性ある景観づくりを考えよう。

景観特性 ①自然（水辺やみどり）の景観特性 ・周辺環境や景観に配慮した国分川が流れる。 ・観光梨園などが多く、観光資源となっている。 ・都内近郊の公園墓地として昭和初期に開園した広大な八柱霊園がある。 ・約 200 種類の樹木・草花が植えられ市民が学び活動できる東松戸ゆいの花公園がある。 ②歴史・文化的な景観特性 ・中峠遺跡・河原塚古墳群など歴史を伝える資源が残っている。	
景観ベルト	景観拠点
斜面林景観ベルト ・国分川周辺に斜面林が連なる。 中小河川景観ベルト ・水辺の植物や生物の生息環境に配慮した国分川が緩やかに流れている。	商業地景観拠点（東松戸駅周辺） ・2つの鉄道が交差し、マンションの建設などの市街化が進み、新しい拠点として計画的なまちづくりが行われている。



国分川



八柱霊園参道



観光梨園



東松戸ゆいの花公園



東松戸駅周辺



河原塚1号古墳

中心市街地景観ゾーン

<景観形成の基本方針>

市街地のにぎわいとみどりや歴史的建造物などがつながる景観づくり

- 開発に対する調整を図り、秩序ある景観づくりのルールをつくろう。
- 商店街などの事業者と協働して、品格とにぎわいのある市街地景観をつくっていかう。
- 自然、歴史・文化、まち並みが調和した景観を次世代に継承しよう。
- 坂川の水辺のうおいを守り、育てよう。
- 旧松戸宿の歴史的遺産を大切にし、趣ある景観づくりを考えよう。
- 芸術・文化を取り入れ、にぎわいを創造する景観づくりを考えよう。

景観特性 ①自然（水辺やみどり）の景観特性 ・水辺に親しめ、みどり豊かな坂川が流れる。 ②歴史・文化的な景観特性 ・旧水戸街道松戸宿の歴史をつたえる社寺が残る。 ・伝統行事や旧松戸宿にちなんだ祭りが行われている。	
景観ベルト	景観拠点
中小河川景観ベルト ・坂川は、自然環境が再生され、様々な生き物が生息できる貴重な空間となっている。 ・坂川の再生とともに伝統行事の復興と併せ、松戸宿坂川献灯まつりが行われている。 ・川沿いの桜並木づくりが市民参加で行われている。	商業地景観拠点（松戸駅周辺） ・商業業務施設が集まり、中心市街地としてのにぎわいがある。 歴史的景観拠点（旧松戸宿周辺） ・旧水戸街道の宿場町で、社寺も多く、当時の名残を随所に見ることができる。



キテテマツド（プラザ広場）



松戸駅西口中通り



松戸まつり



坂川献灯まつり（春雨橋親水広場）



松戸神社



松龍寺